

令和8年度版  
千曲市公共施設個別施設計画

博物館等編①

(森將軍塚古墳館・さらしなの里歴史資料館)



令和8年3月  
長野県千曲市

# — 目 次 —

1. 計画策定の背景、目的と位置付け	
(1) 計画策定の背景と目的	1
(2) 計画の位置付け	1
2. 計画対象施設、計画期間	
(1) 対象施設	2
(2) 計画期間	2
3. 計画対象施設を取り巻く現状と課題	3
4. 対策の優先順位の考え方と施設評価	3
5. 個別施設の状態等（基礎調査）	
(1) 劣化度・老朽化度調査	4
6. 対策内容と実施時期（実施計画）	
(1) 再配置に関する基本方針	4
(2) 工程表	5
(3) 対策費用	5
7. 今後の対応方針と本計画の実現に向けて	
(1) フォローアップ及び実施体制	6
(2) 改訂に関する考え方	6

# 1. 計画策定の背景、目的と位置付け

## (1) 計画策定の背景と目的

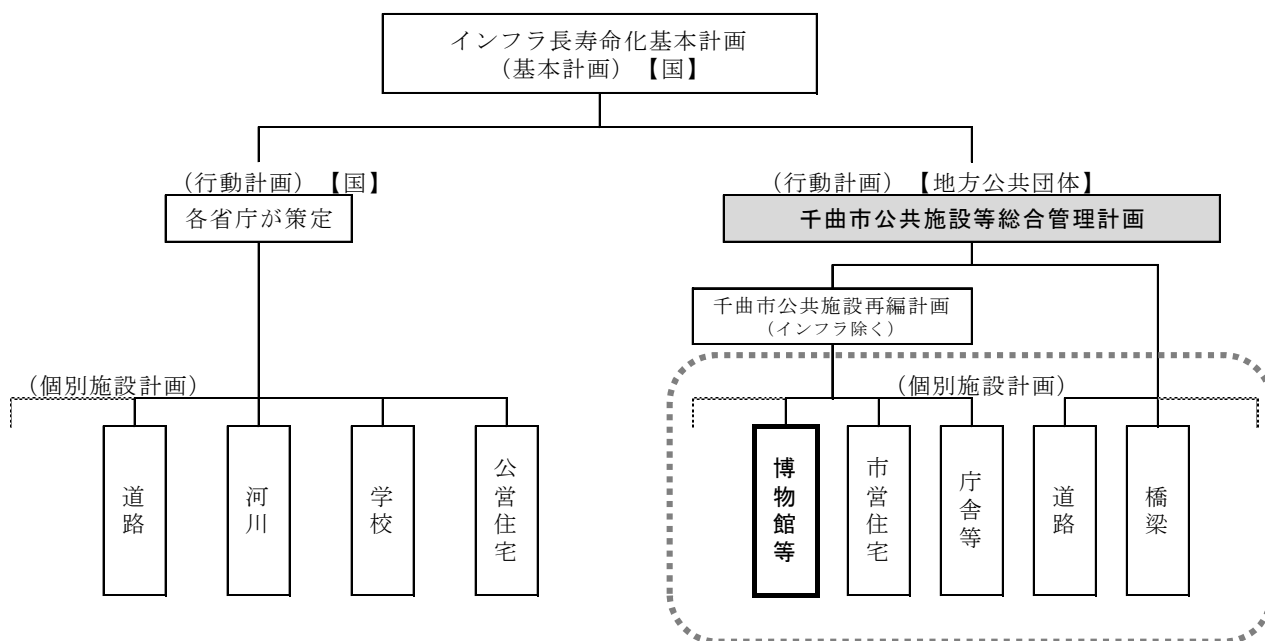
公共施設等の長寿命化対策については、平成 25 年 11 月に国において「インフラ長寿命化基本計画」が策定され、平成 26 年 4 月に地方公共団体においても公共施設等総合管理計画を策定するよう求められました。

本市においても、公共施設等の総合的かつ計画的な施設の維持管理を進めるうえでの基本的な方針として「千曲市公共施設等総合管理計画」を平成 28 年 3 月に策定しました。

「千曲市公共施設個別施設計画 博物館等編①」は、「千曲市公共施設等総合管理計画」の基本方針に基づき、個別施設ごとの維持管理・更新等の対策の内容や実施時期などをまとめた計画として策定するものです。

## (2) 計画の位置付け

本計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」を踏まえ、本市における公共施設の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針として策定した「千曲市公共施設等総合管理計画」を最上位計画とし、総合管理計画と本計画とを橋渡しする「千曲市公共施設再編計画」を上位計画とします。





### 3. 計画対象施設を取り巻く現状と課題

#### 【森将軍塚古墳館】

森将軍塚古墳の管理及び出土品等の展示並びに公園見学者のガイダンス施設として平成9年に開館しました。

年間約2万人の来館者があり、内約70%は、小学校の教育活動に使われております。

科野の里歴史公園内のムラには、古代家屋が7基あり、主なものは、平成6年に建築されました。

開館以来大規模な改修は行われておらず、古墳館・古代家屋共に劣化が進んでいるため、計画的に修繕が必要です。

#### 【さらしなの里歴史資料館】

平成4年に完成し、市民への参加体験や訪れた方の体験講座などを行っております。

開館以来資料館の大規模な改修が行われておらず、雨漏り等がいたるところで発生しております。

平成3年に設置された古代体験パークには、復元住居6棟と倉庫1棟があり、いずれも劣化が顕著であることから、計画的な修繕が必要です。

#### ○各施設の利用状況

森将軍塚古墳館の入館者は、年間平均約2万人です。主に、春から夏にかけて、小学校などの入館者がピークを迎えます。

さらしなの里歴史資料館は、平均約2,500人の入館者があります。

施設名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
森将軍塚古墳館	13,307人	17,003人	17,521人	18,165人	17,774人
さらしなの里歴史資料館	1,355人	1,494人	2,953人	2,391人	2,983人

### 4. 対策の優先順位の考え方と施設評価

利用者の安全面を最優先に考え、建物の経過年数、利用状況等から建物の劣化状況を調査するとともに定期点検を実施し、不具合や危険箇所の早期発見に努め、適切な維持管理を実施していきます。

## 5. 個別施設の状態等（基礎調査）

### （1）劣化度・老朽化度調査

施設状況の的確な把握、改修等の時期を検討するため、目視による劣化状況調査を実施し、各施設の劣化状態を評価しました。

No.	施設名	建物名	所見・特記事項等	劣化度
1	森将軍塚古墳館	古墳館	壁紙が剥げており展示機器共に耐用年数を超えたものが多い。	C
		トイレ	目地もだいぶ黒ずんでおりまた排水ポンプも壊れたままとっている。	C
		竪穴住居 A・B	屋根の劣化が激しい。	C
		竪穴住居 C	現在使用不能状態となっている。	C
		小竪穴住居 A・B	小竪穴住居 A の屋根を修繕したが以前屋根の修復が多い。B も同様。	B
		高床住居	基礎を工事したが屋根部分の劣化が激しい。	C
		平地式住居	柱の劣化が激しい。	C
2	さらしなの里歴史資料館	資料館	雨漏りしている。機械設備の劣化が著しい。	C
		トイレ	老朽化が著しい。	C
		あずまや		A
		竪穴住居イ～ハ・ホ・ヘ	屋根及び骨組みの劣化が著しい。	C
		竪穴住居二	改修を行い、現状を維持していく。	A
		高床住居	屋根の劣化が著しい。	C

※劣化度＝良好 A → 劣化 C

## 6. 対策内容と実施時期（実施計画）

### （1）再配置に関する基本方針

公共施設再編計画で示したとおり、博物館施設は文化的価値も有しており、貴重な施設であるため、利用状況を踏まえて、目標使用年数まで施設を適正に維持できるよう、大規模改修及び長寿命化を計画的にはかかってまいります。

(2) 工程表

施設名	建物名	建築年度 経過年度	耐用年数 目標使用年数	劣化度	計画期間(年度) 上段: 対策内容 下段: 対策費用 (単位: 千円)												対策費用合計	対策により期待される効果
					R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030				
森將軍塚古墳館	古墳館	1996 29	60 2056	C	改修 4,130		改修 1,452				実施設計 3,300	改修 100,000			104,752	目標使用年数までの継続維持		
	トイレ	1989 36	60 2049	C											0	目標使用年数までの継続維持		
	竪穴住居A・B	1993 32	40 2033	C			実施設計 1,089			除却 3,200		改修 22,761			27,050	目標使用年数までの継続維持		
	竪穴住居C	2000 25	40 2040	C			実施設計 同上								0	目標使用年数までの継続維持		
	小竪穴住居A・B	1993 32	40 2033	B			実施設計 同上							改修 21,561	21,561	目標使用年数までの継続維持		
	高床住居	1993 32	40 2033	C		屋根補修 3,498									3,498	目標使用年数までの継続維持		
	平地式住居	1993 32	40 2033	C	修繕 3,003		実施設計 同上								0	目標使用年数までの継続維持		
	資料館	1992 33	80 2072	C		改修 6,270	改修 6,820								13,090	目標使用年数までの継続維持		
さらしなの里歴史資料館	トイレ	1990 35	60 2050	C											0	目標使用年数までの継続維持		
	あずまや	2021 5	40 2030	A											0	目標使用年数までの継続維持		
	竪穴住居イ	1990 35	40 2030	C				改修・設計・監理 14,000				改修・設計 14,000			28,000	目標使用年数までの継続維持		
	竪穴住居ロ	1990 35	40 2030	C											0	目標使用年数までの継続維持		
	竪穴住居ハ	1990 35	40 2030	C											0	目標使用年数までの継続維持		
	竪穴住居ニ	2023 2	40 2030	A			改修・設計 12,045								12,045	目標使用年数までの継続維持		
	竪穴住居ホ	1990 35	40 2030	C											0	目標使用年数までの継続維持		
	竪穴住居ヘ	1990 35	40 2030	C											0	目標使用年数までの継続維持		
	高床倉庫	1990 35	40 2030	C			実施設計 493					改修・設計 22,500			22,993	目標使用年数までの継続維持		
	対策費用合計					7,133	10,261	21,496	14,000	0	3,200	25,800	122,761	14,000	21,561	232,989		

※令和3年度(2021年度)から令和6年度(2024年度)は決算額、令和7年度(2025年度)は決算見込額、令和8年度(2026年度)は予算額、令和9年度(2027年度)以降は計画(概算)額

(3) 対策費用 (R3~R6:決算額、R7:決算見込額、R8:当初予算額、R9:以降:概算額)

【森將軍塚古墳館】

- R3(2021)年度: 7,133千円 古墳館照明LED化工事等(4,130千円) / 平地式住居茅葺屋根修繕(3,003千円)
- R4(2022)年度: 3,498千円 科野の里歴史公園事業等復元建物屋根補修「い 高床倉庫」等(実施設計及び修繕監理)
- R5(2023)年度: 2,541千円 古墳館展示室3面映像設備修繕(1,452千円) / 科野の里歴史公園屋外展示物(復元住居)撤去・設置工事 実施設計(1,089千円)
- R8(2026)年度: 3,200千円 竪穴住居A除却工事(3,000千円) / 竪穴住居A除却工事監理委託料(200千円)
- R9(2027)年度: 3,300千円 古墳館改修工事実施設計(3,000千円) / アスベスト調査委託料(300千円)
- R10(2029)年度: 121,561千円 古墳館改修工事(95,000千円) / 古墳館改修工事監理(5,000千円) / 竪穴住居B改修工事(21,561千円) / 竪穴住居B改修工事管理(1,200千円)
- R12(2030)年度: 21,561千円 小竪穴住居改修工事
- R14(2032)年度: 21,561千円 小竪穴住居改修工事

【さらしなの里歴史資料館】

- R4(2022)年度: 6,773千円 メディアルーム・荷解室空調設備改修工事(6,270千円) / 復元住居修理実施設計(493千円)
- R5(2023)年度: 18,865千円 古代体験パーク屋外展示物(二号住居)設置工事(11,330千円) / 屋外展示物(二号住居)設置工事詳細設計(220千円) /

- 屋外展示物（二号住居）設置工事監理（495 千円） /  
 展示室空調設備改修工事（6,820 千円）
- R9(2027)年度：22,500 千円 古代体験パーク高床倉庫躯体・茅葺屋根改修工事（21,700 千円） /  
 高床住居改修詳細設計（300 千円） /  
 高床住居改修工事監理（500 千円）
- R11(2028)年度：14,000 千円 竪穴住居イ躯体・茅葺屋根改修工事（13,300 千円） /  
 竪穴住居イ改修詳細設計（200 千円） /  
 竪穴住居イ改修工事監理（500 千円）
- R13(2030)年度：14,000 千円 竪穴住居ロ躯体・茅葺屋根改修工事（13,300 千円） /  
 竪穴住居ロ改修詳細設計（200 千円） /  
 竪穴住居ロ改修工事監理（500 千円）
- R15(2032)年度：14,000 千円 竪穴住居ロ躯体・茅葺屋根改修工事（13,300 千円） /  
 竪穴住居ロ改修詳細設計（200 千円） /  
 竪穴住居ロ改修工事監理（500 千円）

## 7. 今後の対応方針と本計画の実現に向けて

### （1）フォローアップ及び実施体制

本計画の進行管理は、所管課である歴史文化財センターが行います。

文化財センターは、各施設の劣化状況・入館者統計等を施設長の報告により状況等把握するとともに、施設の保全に関する本計画の進行を図っていきます。

毎年度の取組状況は、千曲市公共施設等総合管理計画推進本部において点検し、議会へ報告するとともにホームページ等で公表します。

### （2）改訂に関する考え方

各施設の劣化状況や今後の定期的な点検結果及び利用者の状況等に応じ見直しを行っていくほか、上位計画である「千曲市公共施設等総合管理計画」などとの整合性を図りつつ、国の動向及び社会情勢等の変化を把握しながら5年ごとに見直しを行います。更に工程表は、計画の実現性を高めるため、毎年度ローリングします。



# 千曲市公共施設個別施設計画 博物館等編①

令和3年3月策定（毎年度更新）

千曲市総務部財政課

〒387-8511 長野県千曲市杭瀬下二丁目1番地

TEL 026-273-1111(代) FAX 026-273-1004

E-mail : zaiseika@city.chikuma.lg.jp

（本計画を策定した課・施設所管課）

千曲市文化観光スポーツ部 歴史文化財センター